



労働政策研究報告書 No. 49

2006

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

変革期の勤労者意識

— 「新時代のキャリアデザインと人材マネジメントの評価
に関する調査」 結果報告書 —

労働政策研究・研修機構

変革期の勤労者意識

— 「新時代のキャリアデザインと人材マネジメントの評価
に関する調査」 結果報告書 —

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

近年、長期雇用慣行の後退や、年功的な賃金制度に変わる成果志向型の賃金システムの普及によって、日本的雇用慣行が大きく変わろうとしています。こうした変化の結果、従来の人事処遇制度の基底をなす集団的労働条件決定システムもまた変革を迫られております。すなわち、集団的な労働関係から個別的な労働関係へと、労使関係は大きな変革期を迎えようとしています。新たな労働関係を律するルールは、どのようなものであるべきなのでしょう。また新たな労働関係への政策的対応はどうあるべきなのでしょう。

こうした課題に対する基礎的な情報を収集するため、当機構では、プロジェクト研究「企業の経営戦略と人事処遇制度等の総合的分析に関する研究」の中で、企業で働く労働者に対するアンケート調査「新時代のキャリアデザインと人材マネジメントの評価に関する調査」を実施いたしました。この調査ではまず、雇用システムや賃金制度をめぐる労使の認識ギャップに注目しました。その結果、労使の間では、雇用や賃金に関する方針を巡って大きな認識ギャップがあることが明らかになりました。次に、成果主義を中心とする最近の人事処遇制度を含む様々な雇用環境の変化について労働者がどのように考え、受け止めているかに注目したところ、成果主義の進展や外部労働市場の拡大は、個別的労働紛争の発生を高める可能性があることが明らかになりました。また、こうした個別的労働紛争の予防には、労使コミュニケーションの充実が必要であることが示唆されました。ほかにも労働者の方々の企業経営や、コーポレート・ガバナンス等に対する様々な意識、意見を把握することができました。

本報告書が、企業、労働組合、雇用や労働に関心を持つ関係機関の方々、および研究者等の専門家の方々にご活用いただければ幸いです。また、今後の労働政策を巡る議論の活性化に少しでも役立つところがあれば、望外の喜びであります。

2006年1月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 小 野 旭

執筆担当者（五十音順） 所属 肩書き [] 内執筆分担

たつみち 立道	しんご 信吾	(独) 労働政策研究・研修機構副主任研究員 [第Ⅰ部、第Ⅱ部序章、第3章、第Ⅲ部執筆]
みやもと 宮本	みつはる 光晴	(独) 労働政策研究・研修機構特別研究員 専修大学経済学部教授 [第Ⅱ部 第1章執筆]
もりしま 守島	もとひろ 基博	(独) 労働政策研究・研修機構特別研究員 一橋大学大学院商学研究科教授 [第Ⅱ部 第2章執筆]

プロジェクト研究

「企業の経営戦略と人事処遇制度等の総合的分析に関する研究」

研究会メンバー（五十音順）

立道	信吾	(独) 労働政策研究・研修機構副主任研究員
中村	良二	(独) 労働政策研究・研修機構副主任研究員
藤本	真	(独) 労働政策研究・研修機構研究員
宮本	光晴	(独) 労働政策研究・研修機構特別研究員 専修大学経済学部教授
本川	明	(独) 労働政策研究・研修機構統括研究員
守島	基博	(独) 労働政策研究・研修機構特別研究員 一橋大学大学院商学研究科教授
オブザーバー	石水 喜夫	厚生労働省労働経済調査官

目 次

第Ⅰ部 本報告書の概要	3
第Ⅱ部 分析編	
序章 調査の目的・背景と調査方法	17
第1章 人材マネジメントの変革と従業員行動 企業と従業員間の認識ギャップ	27
第2章 人事管理の変化と個別紛争の増加	77
第3章 成果主義と労働者の意識 成果主義とプラセボ効果	95
第Ⅲ部 アンケート調査結果の概要	
－「新時代のキャリアデザインと人材マネジメントの評価に関する調査」結果の概要－	
序章 第Ⅲ部の要約	119
第1章 労働者のキャリア意識	131
第2章 人材マネジメントに関する一般的な意識	143
第3章 勤務先企業の人材マネジメントに対する評価	161
第4章 自分自身の処遇と処遇に関する意識	189
第5章 成果主義に関する意識	233
第6章 最近の職場の変化	265
第7章 コーポレート・ガバナンスに関する意識	281
第8章 仕事の満足度とコミットメント	303
第9章 調査回答者の基本的属性	317
第Ⅳ部 付属資料	
「新時代のキャリアデザインと人材マネジメントの評価に関する調査」調査票	333
「企業戦略と人材マネジメントに関する総合調査」調査票	348

